

広報

しんじょう

2

2006

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.578



むかし大好き!冬体験(1月14日/旧矢作家住宅)

新庄市の農業……………2

国勢調査速報値……………4

市民活動を知る……………6

申告Q&A……………8

江戸だより/いきいき新庄人……………9

しんじょう見聞録……………10

2月のお知らせ……………12

特色ある教育活動の創出……………14

「環境にやさしいまち新庄」の
シンボルマーク



市制施行50周年を迎えた平成11年に行った「環境保全都市宣言」。多くの市民に環境への意識を高めてもらおうと制作したものです。モチーフは「水」「森」「人」「雪」

新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

E-mail info@city.shinjo.yamagata.jp

新庄市の農業

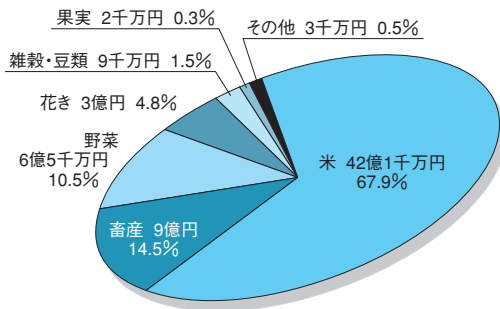
タラの芽産出額全国3位、ニラ産出額県1位

「米」十「こだわり農産物」による
農業所得の拡大を目指して

農業生産の振興と農業所得の拡大を目指し、本市では、さまざまな取り組みを進めています。

一方、戦後農政を根本から見直すものとされる『食料・農業・農村基本計画』に基づき、平成十九年度から「経営所得安定対策」がスタートします。農業を本市の重要な産業と位置づけ、地域農業を維持発展させていくため、関係機関と一体となって取り組みを進めています。

新庄市の農業産出額（平成16年）



資料／東北農政局新庄統計・情報センターによる

※農業産出額＝市町村ごとに農業生産活動による最終生産物の品目別生産量に農家庭先販売価格を乗じて求めたもの

一億円を超える農産物

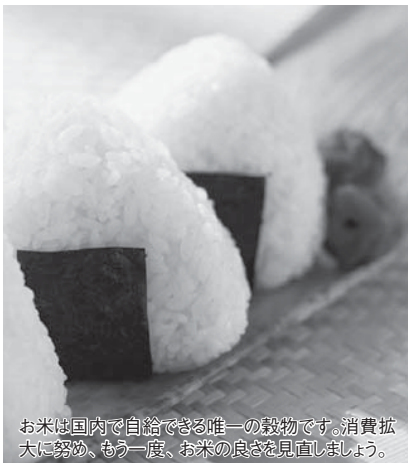
新庄市の農産物の主力はやはり「米」ですが、畜産や野菜・花きなどの園芸生産も近年大きな伸びを示しています。

平成十六年度の農産物産出額（東北農政局調べ）をみると、一億円を超えるものが四品目あります。米四十二億一千万円、生乳四億九千万円、肉用牛三億円、ニラ二億一千万円、トルコギキョウ一億四千万円。ニラは算出額で県一位、全国でも上位にランクされています。また、タラの芽の産出額は全国三位です。

畜産は稲作に次ぐ産出額

畜産全体の農業産出額は十六年度で約九億円と新庄市全体の十五%を占め、水稲に次いで盛んな分野となっています。また、畜産農家戸数は近年約百五十戸で推移しています。

とりわけ肉用牛は、十三年のBSE問題をきっかけに、より安全・安心を追求するため個体識別管理に取り組み、畜舎及び搬出入の入念な検疫管理を行った結果、国産牛に対する信用と価格安定を取り戻しています。その結果、最上子牛市場は全国的にも評価が高まって



お米は国内で自給できる唯一の穀物です。消費拡大に努め、もう一度、お米の良さを見直しましょう。



国営新庄農業水利事業により農業用水が行き渡る水田

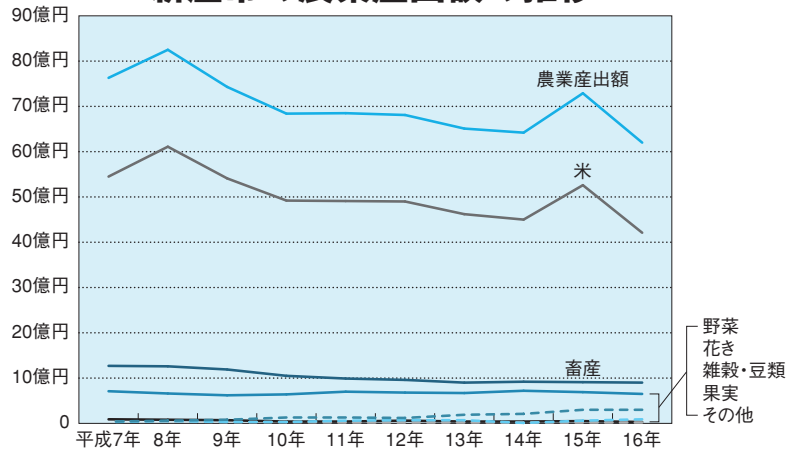
食料自給率

(平成15年/カロリーベース)

| 新 庄 市 | | 162% |
|-------|-----|------|
| 内 訳 | 米 | 645% |
| | 雑 穀 | 471% |
| | い も | 27% |
| | 豆 類 | 9% |
| | 野 菜 | 72% |
| | 果 実 | 4% |
| | 牛 肉 | 16% |
| | 豚 肉 | 1% |
| 牛乳乳製品 | | 58% |
| 最上地域 | | 228% |
| 山形県 | | 131% |
| 全 国 | | 40% |

※農林水産省「食料自給率レポート」をもとに試算

新庄市の農業産出額の推移



※食料自給率とは、消費される食料がそこでどれくらい生産されているかを表す数字のことです。

園り、活気ある産地づくりを進め

の生産者は、市の若者園芸実践塾の卒塾生など若者が過半数を占めているのが特徴です。

新庄市で生産される花・トルコギキョウは、気候条件に合い、高品質で市場評価も高く、有望作物として位置づけています。

大きく育ってきた 花栽培

また、環境保全を重視し、「全県エコエリア構想」に基づいた、たい肥の有効活用を積極的に進めています。

ています。

地産地消を進め 環境保全型農業を目指す

「地産地消」を推進しています。

また、家庭などから出る生ごみをたい肥化して農業に活用する環境保全型農業を展開するため、農家による実証を行っています。十九年度をめどに、市内全域の生ごみをたい肥化し、本格的に事業化する予定です。

強く元気な農業の 構築に向けて

安定対策」がスタートします。

打ち出されています。

今後、「強い農業（元気な農業）」の構築を目指し、関係機関と一体となつて取り組んでいきます。



962世帯

国勢調査へのご協力ありがとうございました。今回の調査結果は、速報値として総務省から発表されました。5年前の調査と比べ、新庄市では、世帯数は80世帯、人口は1,435人減少しました。詳しい集計や分析は国が行い、その調査結果は、国の施策やまちづくりの基礎資料となります。

新庄市内の地域別比較表 (単位:人・世帯)

| 地域区分 | 項目 | 平成17年 | 平成12年 | 比較 | 増減(%) |
|---|------|--------|--------|--------|-------|
| 住居表示地区地域 主に〇〇町△号と表示される地域(市域の中心部) | 世帯数 | 4,084 | 4,288 | △204 | △4.8 |
| | 人口 | 11,039 | 11,816 | △777 | △6.6 |
| | 人/世帯 | 2.70 | 2.76 | △0.06 | |
| 住居表示外住宅地域 上記以外の住宅地域(一部住居表示地区含む) | 世帯数 | 4,617 | 4,565 | 52 | 1.1 |
| | 人口 | 12,874 | 12,976 | △102 | △0.8 |
| | 人/世帯 | 2.79 | 2.84 | △0.05 | |
| (中道町、桧町、千門町、新町、栄町、下田町、東谷地田町、大字松本のほか、十日町、五日町、金沢、大字鳥越の住宅地域) | | | | | |
| 旧新庄町の農村地域 大字飛田のほか、十日町、五日町、金沢の農村地域 | 世帯数 | 1,499 | 1,444 | 55 | 3.8 |
| | 人口 | 5,864 | 5,858 | 6 | 0.1 |
| | 人/世帯 | 3.91 | 4.06 | △0.15 | |
| 旧稲舟村の農村地域 大字仁間、大字福田、大字角沢のほか大字鳥越の農村地域 | 世帯数 | 851 | 851 | 0 | 0.0 |
| | 人口 | 3,232 | 3,406 | △174 | △5.1 |
| | 人/世帯 | 3.80 | 4.00 | △0.20 | |
| 旧萩野村の農村地域 大字泉田、大字昭和、大字萩野の地域 | 世帯数 | 1,307 | 1,267 | 40 | 3.2 |
| | 人口 | 5,245 | 5,414 | △169 | △3.1 |
| | 人/世帯 | 4.01 | 4.27 | △0.26 | |
| 旧八向村の農村地域 大字本合海、大字升形の地域 | 世帯数 | 604 | 627 | △23 | △3.7 |
| | 人口 | 2,462 | 2,681 | △219 | △8.2 |
| | 人/世帯 | 4.08 | 4.28 | △0.20 | |
| 新庄市合計 | 世帯数 | 12,962 | 13,042 | △80 | △0.6 |
| | 人口 | 40,716 | 42,151 | △1,435 | △3.4 |
| | 人/世帯 | 3.14 | 3.23 | △0.09 | |

※総務省が公表する確定値と違う場合があります。



平成17年10月1日(土)

総務省統計局

今回の国勢調査では、市全域を四百二十二の単位区に分け、その世帯数と人口を集計し、国へ報告しています。これを地域ごとに区分し再集計したものが左の表です。調査単位区は、道路や川などを境として決められますので、町内会などの区分とは一致しません。したがって、地域区分は、おおむねのものにとらえてください。

新庄市の状況

【世帯数】

市の中心部と旧八向村の農村地域で減少しています。住居表示外農村地域での増加は、宅地造成に伴う住宅増加によるものと考えられます。

【人口】

少子化の進行などにより減少しています。地域別では、旧新庄町の農村地域を除いて、市の中心部を含む五地域で減少しています。旧新庄町の農村地域では宅地造成が進み、新たに住む人が増え、横ばい状態となっています。

【一世帯当たり人員】

すべての地域で減少しています。住宅地域で二人台、農村地域では四人台と、家族人員の傾向に違いが見られます。市全体では三・一四人で、県全体の人員も三・一四人となっています。山形県は、全国で世帯人員がいちばん多くなっています。

県内の状況

【市部の人口】

東根が大きく伸び、天童、山形、寒河江がそれに続く伸びを示しています。新庄を含めてほかの八市は人口が減っています。

【最上郡内の人口】

郡内七町村では、いずれも人口は減少。新庄市と最上郡全体では、大蔵村の人口を超える四千六百六十九人が減少しています。

国勢調査 速報値

40,716人 12,

[参考資料]

5年間の自然的増減 (新庄市)

出生2,041人 死亡1,930人
(111人の増加)

5年間の社会的増減 (新庄市)

県内移動187人の減、県外移動484人の減
(671人の減少)

新庄市と県内市町村間の社会的移動

| (転出－転入)で多い市町村順 | |
|----------------|--------------------|
| ①山形市 | 1,145 - 810 = 335人 |
| ②天童市 | 344 - 200 = 144人 |
| ③東根市 | 245 - 135 = 110人 |
| ④酒田市 | 310 - 215 = 95人 |
| ⑤鶴岡市 | 303 - 227 = 76人 |
| ⑥村山市 | 112 - 69 = 43人 |
| ⑦寒河江市 | 124 - 92 = 32人 |

| (転入－転出)で多い市町村順 | |
|----------------|------------------|
| ①戸沢村 | 289 - 154 = 135人 |
| ②鮭川村 | 245 - 123 = 122人 |
| ③大蔵村 | 229 - 133 = 96人 |
| ④真室川町 | 387 - 293 = 94人 |
| ⑤最上町 | 244 - 153 = 91人 |
| ⑥舟形町 | 213 - 138 = 75人 |
| ⑦金山町 | 224 - 179 = 45人 |

※平成11年10月～16年9月の住民基本台帳の届出による資料『山形県の人口と世帯数』より
山形県総務部総合政策室調べ

県内13市では1.58%の減 (単位:人)

| 区分 | 平成17年 | 平成12年 | 比較 | 増減率(%) |
|------|---------|---------|---------|--------|
| 山形市 | 255,959 | 255,369 | 590 | 0.23 |
| 鶴岡市 | 142,381 | 147,546 | △5,165 | △3.50 |
| 酒田市 | 98,278 | 101,311 | △3,033 | △2.99 |
| 米沢市 | 93,170 | 95,396 | △2,226 | △2.33 |
| 天童市 | 63,858 | 63,231 | 627 | 0.99 |
| 東根市 | 45,832 | 44,800 | 1,032 | 2.30 |
| 寒河江市 | 43,625 | 43,379 | 246 | 0.57 |
| 新庄市 | 40,716 | 42,151 | △1,435 | △3.40 |
| 上山市 | 36,016 | 36,886 | △870 | △2.36 |
| 南陽市 | 35,192 | 36,191 | △999 | △2.76 |
| 長井市 | 30,929 | 31,987 | △1,058 | △3.31 |
| 村山市 | 28,191 | 29,586 | △1,395 | △4.72 |
| 尾花沢市 | 20,695 | 22,010 | △1,315 | △5.97 |
| 計 | 934,842 | 949,843 | △15,001 | △1.58 |

最上郡7町村では3,234人の減 (単位:人)

| 区分 | 平成17年 | 平成12年 | 比較 | 増減率(%) |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 最上町 | 10,762 | 11,483 | △721 | △6.28 |
| 真室川町 | 10,054 | 10,592 | △538 | △5.08 |
| 金山町 | 6,949 | 7,381 | △432 | △5.85 |
| 舟形町 | 6,671 | 6,996 | △325 | △4.65 |
| 戸沢村 | 5,915 | 6,450 | △535 | △8.29 |
| 鮭川村 | 5,448 | 5,829 | △381 | △6.54 |
| 大蔵村 | 4,226 | 4,528 | △302 | △6.67 |
| 計 | 50,025 | 53,259 | △3,234 | △6.07 |

| 県内郡部別 | 平成17年 | 平成12年 | 比較 | 増減率(%) |
|-------|-------------|-------------|---------|--------|
| 山形県計 | 1,216,116 | 1,244,147 | △28,031 | △2.25 |
| 全国計 | 127,756,815 | 126,925,843 | 830,972 | 0.65 |

全国の人口

一億二千七百七十六万人で平成十二年に比べ八十三万人の増加ですが、出生率の低下に伴い、増加率は〇・七％と戦後最低を更新しています。日本の人口は減少局面に入りつつあると見られています。

〔山形県全体の人口〕

市町村別人口で増加となったところは四市一町、減少は九市二十四町村。郡部は四・四三％の減となり、県全体で二万八千三十一人が減少しています。

都道府県別には、東京都、神奈川県、愛知県など十五都府県で人口増加。人口減少率が最も高いのは秋田県の三・七％で、和歌山県、青森県と続き、山形県を含め三十二道県で減少、九県で増加から減少に転じています。

◎詳しくは、次の総務省ホームページをご覧ください。

http://www.stat.go.jp/data/koku sei/2005/youkei/01.htm



協働によるまちづくりの担い手

市民活動をもっと知るために

新庄市では、サークルや市民団体の自主的な活動が盛んに行われています。また、福祉や生活環境など多くの分野でボランティア活動が多様化し、組織が形成されるなど公益活動の重要な担い手になってきています。市は、より多くの市民がかかわりながら参加の輪を広げ、市民と行政が協働する「住みよいまちづくり」を目指しています。

NPOとボランティアの比較

| 区 分 | NPO(民間非営利組織) | ボランティア |
|----------|------------------------------|-------------------------------------|
| 組織/個人 | 組 織 | 個 人 |
| 活 動 | 参加を促す側 | 参加する側 |
| 収益・報酬 | 収益は上げるが非営利報酬を受けるスタッフがいる団体も多い | 労働に対する対価は原則的に無報酬 |
| 自立性・自発性 | 自発的に民間の立場で活動する団体なので自立性が問われる | 自発的だが行政のためのボランティアもあるので必ずしも自立的とはいえない |
| 目 的 | 目的達成を第一義とする | 自己実現や自己満足のための活動でも可 |
| 組織運営 | 必要かつ重要 | 個人としては不要 ボランティアグループには必要となる場合もある |
| 収益活動の必要性 | 組織維持のため必要な場合が多い(重要) | 原則としてない (あっても付随的) |

※市民プラザの市民活動交流ひろば「ぶらっと」では、ボランティアに関する情報提供・相談を行っています。

ボランティアとNPO

ボランティア活動には、個人的に行うものもあれば、行政やNPOがその機会を提供するものもあります。ボランティアが活動に参加する側であるのに対して、NPOはボランティアが参加する場をつくる、参加を求める側と言えます。

NPOの「非営利」とは

「非営利のほずなのにNPOがお金を稼ぐのはおかしい」とか「ボランティアは収益事業を行わないのが当たり前」と指摘されることがあります。これは、「非営利性」と「無報酬性」を混同しているために起こる誤解です。

場 紹 介

市役所の仕事
農林課 編

農林課の三室十八名は、やりがいのある農業、環境にやさしい農業を目指し取り組んでいます。

○どんな仕事をしているの？

〔農政企画室〕

米づくりと園芸作物の複合経営を推進し、農業所得の維持向上に取り組んでいます。農業者・関係機関一体となった生産調整推進のための各種対策を実施する一方、担い手・生産組織などへの育成支援により産地化を図っています。また、農業振興地域の管理に関する業務などを行っています。

〔農林振興室〕

主に稲作・畑作・施設園芸(花・野菜など)・果樹・畜産・林業の振興と農業生産基盤整備の促進、農村環境の改善に取り組んでいます。特に、稲作中心の農業から園芸作物や畜産などを組み合わせた複合経営の推進に力を入れています。また、快適で良好な集落環境の形成のため「集落排水事業」「営農飲雑用水事業」などを担

公益活動

もがみを バイオマスバレーに

NPO法人バイオマスもがみの会
(理事長・井上洋一郎さん)

わたしたちは、世界で脚光を浴びているバイオマスの活用を民・産・学・官で連携しながら普及させようとして立ち上げたバイオマスネットワークです。地球温暖化防止などの環境保全活動や食の安心・安全など、私たちの生活を守るための新たな運動を「もがみをバイオマスバレーに!」の構想のもと取り組んでいます。

今、最上地域では、人や環境にやさしい持続可能な地域循環型社会の構築を目指した実証試験が次々と立ち上がっています。化石燃料に代わる植物性エタノールの開発(ソルガムからエタノールを製造/新庄市)やBDF(菜種等植物性油/金山町)などの代替燃料の開発、豊富な森林資源や生ごみを再生・活用した地域暖房システム(最上町)、製材廃材やキノコ廃菌床による発電(真室川町、鮭川村)、生ごみを活用したたい肥づくり(新庄市、鮭川村)などです。この気運をさらに内外に啓発して運動を前進させ、地域活性化を図るための活動を民・産・学・官連携で進めています。

また、最上地域の豊富な森林資源を有用活用した木質バイオマスの取り組みも現実のものとなりつつあります。第4回最上地域バイオマスフォーラムでは、森林バイオマスの特集しました。

地球温暖化を防止し、未来を担う子どもたちにかけがいのない地球環境を引き継ぐため、生活スタイルを見直してみませんか。そして、あなたも挑戦してみませんか。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

第4回 最上地域バイオマスフォーラム

- とき 3月9日(休)午前10時30分～午後4時
 - ところ 市民プラザ大ホール
 - 内容 バイオマス専門家会議、講演「森・里山に守られた暮らし」愉快な山仕事主宰・浜田久美子氏、円卓会議(テーマ「森に癒され、森に暖められる“もがみ”の暮らし」)、地域循環バイオマスシステム展
- ◎NPO法人バイオマスもがみの会 ☎28-8319



「非営利性」とは、「NPO 団体が活動していくうえで必要な経費のための収入は得るが、そこで余ったお金(利益)を構成員に分配せず、その団体の目的に沿った活動に使うこと」を意味しています。一方、「無報酬性」とは、「個人が働いたことへの対価としてのお金(報酬)をもらわないこと」を意味しています。

どちらも労働への対価ではありませんが、交通費などボランティアにかかる経費の支給をどの程度受けるかによって、とらえ方が違ってきます。

ボランティアによるサービスの質を保ち、活動の継続性を維持していくためにも、「有償」というボランティアのあり方を多くの方に理解してもらおうことが必要です。

有償ボランティアと無償ボランティア

市民活動を知ろう!

～市民活動団体事例発表会～

- とき 2月21日(火)午後1時30分～3時30分
 - ところ 市民プラザ大ホール
 - 内容 団体の活動発表とアドバイザーによる団体・行政へのアドバイス
 - アドバイザー 齋藤政美さん(山形市市民活動支援センター)、加藤清輝さん(NPO法人環境協働組織グランドワーク庄内理事長)
- ◎参加は無料です。詳しくは、市民プラザへ。

☎22-4200

当しています。

「バイオマス推進室」

環境にやさしい農業を進めるため、生ごみ・牛ふん・間伐材などを活用した、高機能たい肥の製造に取り組んでいます。また、E3(エタノール3%混合ガソリン)普及のため、公道走行実証を実施中です。エタノール製造施設の実現のため検討を行っています。

市民の憩いの場であるエコロジージャーデン(原蚕の杜)を管理しており、バイオマスの研究を行う『玉川大学新庄バイオマスセンター』や、『産直まゆの郷』もこの施設内にあります。

市・県民税の申告はお早めに

●期間 3月15日(水)まで(平日のみ) ●受付時間 午前9時～午後3時 ●会場 市民文化会館2F小ホール

市民税・県民税の申告は、所得の多少にかかわらず必要です。申告しない方の場合、所得額を把握できず、国民健康保険税の軽減が受けられない、所得証明が発行できないなど支障をきたす場合があります。

Q 前年と比べて変わった点は？

- 定率減税の見直しにより、税額控除の額が市・県民税所得割額の7.5%に相当する額(上限2万円)となりました。
- 老年者控除が廃止されました。(所得税の所得控除額50万円、市・県民税の所得控除額48万円)
- 65歳以上の方(昭和16年1月1日以前に生まれた方)の公的年金等に係る雑所得の速算表が改正されました。
- 65歳以上の方で、前年の合計所得金額が125万円以下のものにかかる非課税措置が廃止となりました。(ただし、平成17年1月1日現在において、65歳以上の者で、前年の合計所得金額が125万円以下のものにかかる市・県民税(均等割及び所得割)については、平成18年度分の税額を2/3減額し課税する)

65歳以上の皆さまへ重要なお知らせ

平成17年分の申告から、老年者控除の廃止・公的年金等にかかる雑所得の速算表の改正があり、前年の合計所得125万円以下の方の非課税措置が廃止されました。今まで申告の必

要がなかった方へも、所得税または市・県民税の申告をしたほうが税法上有利なため申告書を送りました(対象＝公的年金の収入金額が148万円以上の方)。すでに所得税の申告を済ませた方は市・県民税の申告書を提出する必要はありません。

Q 源泉徴収票は申告に必ず必要なの？

源泉徴収票は収入の確認だけでなく、その収入から差し引かれた社会保険料を所得から控除したり、所得税納付額から源泉徴収税額を差し引いて納付額(または還付額)を確定するため重要な添付書類です。

Q 失業手当給付金は課税されるの？

課税されません。所得の把握のために申告書が送付される場合があります。その他に次のような収入は非課税となります。(労働者災害補償保険の給付金、遺族年金、障害者年金、児童手当、児童扶養手当など)

Q 医療費控除の申告は？

本人または本人と生計を一にする配偶者その他の親族のために支払った医療費の額を所得から控除するもので、医療費が払い戻されるものではありません(還付は17年中に所得税を支払っている場合のみ)。必ず支払った際の領収書をお持ちください。

◎詳しくは、税務課課税室へ。☎内線142・143

克 雪

雪下ろしは慎重に

屋根の雪が70センチになる前に雪下ろしをしましょう

市内の通常の建物は、最低でも1メートルの積雪に耐えられるよう造られています。安全のため積雪70センチになる前に雪下ろしを行う必要があります。

作業中の安全対策

例年、雪下ろし作業中の転落事故や雪埋まり事故が数多く報告されています。作業中は、適度の長さの落下防止ロープを装着し、できるだけ複数の人で作業しましょう。

雪下ろしは重量バランスを考えて

屋根の片側だけに雪を残してしまうと、建物にねじれなど過大な負担が生じます。屋根の片側だけを集中的に下ろさないで、雪の重さが均等になるよう注意しましょう。

下ろした雪の排出

下ろした雪は道路に出さず、流雪溝に投雪するか運搬業者に依頼して処理しましょう。

空き家の雪下ろし

空き家の住宅などで倒壊の危険がある場合は、所有者や管理者に連絡し、近隣の住民で協力して雪下ろしをしてください。

電線・電話線に気をつけて

作業中の感電や、電線・電話線の破損に注意しましょう。

◎詳しくは、都市整備課建築住宅室へ。☎内線522～524

健康メモ

肺がん検診を受けましょう

増加の一途をたどる肺がんは、男性で特に急増しており、国内での死因のトップとなっています。肺がんは、初期には自覚症状がないため発見が遅れがちで、進行すると、せき・たん・血たん・息苦しいなどの症状が現れます。喫煙が深く関わっており、死亡率が高く、治りにくいがんの一つです。入口の太い気管支にできるものと、奥の末梢部にできるものがあります。

検査は、^{かくたん}喀痰検査や胸部レントゲン検査を実施しています。肺がん検診のレントゲン検査は、早期発見のため2人の医師によるダブルチェックや、前年との比較が行われています。平成16年度の市検診での胸部レントゲン検診受診者は、肺がん検診439人、人間ドック胸部検査3,601人、結核検診5,609人で、そのうちの数人からがんが発見されました。

予防法は、まずは禁煙です。そして受動喫煙をさける、緑黄色野菜をたくさん取ることを心がけましょう。また、早期発見のため、職場での健診や住民検診で、肺がん検診などの胸部レントゲン検診を年1回必ず受けましょう。

※喫煙指数＝1日の喫煙本数×喫煙年数

【例】1日20本を20年間吸い続けた場合 20×20＝400
喫煙指数400は「要注意」、600は「高危険域」です

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513～516

御家老の江戸だより

大寒のさ中納豆汁が微笑む

◆新庄藩江戸家老
津谷タズ子さん(童話作家)

今年は何十年ぶりの寒波に日本全体がすっぽり包み込まれてしまったらしく、東京に降り積った雪は四日目を過ぎても植え込みの上で凍りつき、キラキラと輝いています。心温まるニュースを、と期待しながら「こ毎日見聞きするのですが、残念なこと、今のところ裏切られてばかりいる。」



と、少し気落ちしているときに友人より電話が入って、「寒いのでお茶飲みっこをお宅ですることになりました。わたしたちの食べたことのない納豆汁を作ってください。あとのごちそうは、めいめい持参いたしますので心配なさらずに。それでは明日。あつ、こちらから出向くのはいつもの四人。あなたを含めて五人です」と、念の

いかと思いき直して、その日のうちに材料の買出しに走りまわりました。
次の日、十時ころには全員そろい、友人たちにはすり鉢で納豆をつぶしていただいて納豆汁の完成。小鉢にはノビルとアオヤギのヌタを作った。ノビルを食べたのも初めてと言うので、何種類かの食べ方を伝授した。

今日が集まりのきっかけの話になった、一月中旬の「ダーツの旅」というテレビ番組で山形県戸沢村のお母さんたちが「お茶飲みっこ」と称して納豆汁を作っているのを見て、確か戸沢村は新庄の近くだと気づいてわたしに電話したとのことでした。
友人たちは新庄のことを、「くじら餅・笹まき・山菜料理・川魚料理がおいしく、穏やかな人情のあるまち」と表現してくれた。しかし、わたしは、幼いころに感じていた普段でもにぎやかだった新庄の街並みを、今旅する人たちにも感じられる新庄であつてほしいと願っています。
今年、わたしは、桜の咲く時季に「新庄のよき再発見」の旅に親友を招待して、豊かな楽しい時間を過ごすという計画しています。

いきいき 新庄人

楽しみながら 伝統を守る

中部道子さん(沼田町)

「亀綾織は、明治天皇が東北をご訪問されたときにも献上されたそうです。平成14年の全国植樹祭に天皇陛下がいらしたときの記念アルバムの表紙材にも使われました。そのようなことなどをお話しました」と語る中部さんは、新庄亀綾織伝承協会の会長として中心的な存在。昨年10月の「地域伝統芸能全国フェスティバル」で高円宮妃殿下に説明。その後、妃殿下への献上品として亀綾織が選ばれました。

「20年前、市が明治末期に途絶えて幻の織物となっていた亀綾織の復元を目指し、作る人を募集しました。その話を聞いてわたしは、楽しそうだし、時間に余裕が出てきたので袋物を作ることぐらいはできるかな、という軽い気持ちで応募しました。

わたしと同じような素人の主婦35人が集まり伝承協会が発足。県工業技術センターから米織物の講師を招き、初めの1年は織物についての座学、次の年から毎月1回、約3年にわたる実技講習を受けました。現在、伝承協会のメンバーは、発足当時の4人を含め9人。「原蚕の杜」と

“機織り長屋”で機織り・染色(草木染め)・袋物(製品)づくりをしています。ほとんどの工程を自分たちでやっていますが、金具が付いたものや技術的な加工が必要なものなどは、東京や京都の専門業者をお願いするものもあります。始めたころから、みんな亀綾織を復元してみたいという意欲があつて、試行錯誤を繰り返しながら20年間続けることができました。

わたし自身、追いつめられ苦しくなるようなやり方は嫌いなので、他人に強制するようなやり方は好みません。自分でできることを精一杯やれば、結果はおのずとついてくると思っています。今は、亀綾織と出合ったおかげで毎日行く所があり、やることがあるという幸せを感じています。また、機織り長屋にいと、いろいろなお客さんと出会うことができ、喜ぶ顔を励みに頑張ることができます。

亀綾織は、織細な亀甲模様が特徴。機織りが基本です。

この機織りができ、亀綾織の伝統を守っていける人を1人でも多く育てていきたいと思ひます」。もの作りに打ち込む中部さんは輝いています。



新聞録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲分列行進・放水などを披露した消防団出初め式(1月8日/駅前通り~市役所前)



▲上達をめざし楽しんだ親子スキー教室(1月14日、15日/市民スキー場)



▲新庄ロータリークラブが合格祈願鉛筆を寄贈(1月18日/市役所)



▲吉田喜一郎さんが市に寄付(1月30日/市役所)



▲かもしかおたのしみ会で交通安全アピール(1月22日/ゆめりあ)



▲県広報コンクールで特選を受賞した組み写真「新庄まつり250年祭 熱く燃えた夏」

消防に新たな決意

消防団員、最上広域消防本部職員、市の関係者など総勢420人が参加し、新年恒例の消防団出初め式が行われました。団員たちは、駅前通りを整然と分列行進し、市役所前では消防車6台を連ねて放水を披露。機敏な動きを見せました。参加者たちは、地域防災を担うことへの抱負を新たにしました。

楽しみながら上達

新庄21地域スポーツクラブ主催による親子スキー教室が開催されました。参加者は、市スキー連盟所属の指導員から指導を受けながら、雪の感触を楽しんでいました。市民スキー場では、このほかにもスキー教室やスノーボード教室が開かれました。今年度から各種のスポーツ教室を開催している新庄21地域スポーツクラブは、2月18日に正式に「総合型地域スポーツクラブ」に生まれ変わります。

市に善意の寄付

雪対策など市政に役立ててほしいと、(株)ヨシダ靴鞆店と協和不動産(株)、これらを経営する吉田喜一郎さんから市は計100万円の寄付をいただきました。また、新庄ロータリークラブからは、受験生激励のため、福岡大宰府天満宮の合格祈願鉛筆を市内の中学3年生全員に寄贈されました。市民の皆さまの温かな善意に感謝しながら、大事に使わせていただきます。

広報コンクールで特選

平成17年度山形県市町村広報コンクールにおいて、広報しんじょう9月号に掲載した「新庄まつり250年祭 熱く燃えた夏」が組み写真の部で特選を、6月号表紙が1枚写真の部で入選4席を受賞しました。組み写真は、県代表として、全国広報コンクールに出品されます。



栄光をたたえて

■第27回新庄市総合体育大会(1位のみ掲載)
【バスケットボール】男子／沼田北辰スポ少女子／新庄リトルピッツスポ少**【サッカー】**Aブロック萩野スポ少Bブロック泉田スポ少**【弓道】**男子／高校団体新庄北A同個人津藤亮太(新庄南)同花的齋藤拓実(新庄北)女子／高校団体新庄北A同個人庄司華奈子(新庄北)同花的齋藤春香(新庄北)伊藤英理(新庄北)**【柔道】**男子／小学1・2年生高山裕次郎(日新)同3・4年生新橋大(北辰)中学生団体日新A女子／小学1・2年生森春華(萩野)同3・4年生森遥香(日新)同5・6年生伊藤美由希(日新)中学生個人高山美咲(日新)**【空手道】**個人形小学1・2年生国分桃香(新庄)同3・4年生田沢大志(新庄)中学生男子土田秀成(明倫)同女子海藤佳奈(新庄)組手小学3・4年生男子田沢大志(新庄)同女子小林未侑(沼田)小学5・6年生男子仙台充功(本合海)同女子国分円香(新庄)**【剣道】**男子／小学4年生以下今田成深(北辰)小学5年生以上中村聡司郎(沼田)中学生阿部大世(新庄)高校生森陽広(新庄北)一般古泉直(剣道連盟)女子／小学4年生以下高橋あかね(新庄)小学5年生以上羽賀早侑利(日新)中学生高橋成美(新庄)高校生林友紀(新庄南)一般高橋真澄(剣道連盟)**【合気道】**優秀賞田中幸一(新庄支部)**【自転車】**中学校男子の部加藤拓朗(明倫)小学校低学年男子の部三上陽輝(沼田)**【クレー射撃】**トラップS渡部市太郎(クレー射撃協会)スキートA須藤幸一(同協会)スキートB井上正勝(同協会)総合須藤幸一(同協会)

■県障害者スポーツ大会

【アーチェリー】コンパウンド50・30m③矢口眞澄(升形)**【水泳】**25m背泳①松田美佐子(鳥越)25m自由形①早坂暁子(小田島町)50m自由形①松田美佐子(鳥越)①早坂暁子(小田島町)**【卓球】**下肢の部③松澤光彌(松本)上肢の部④斉藤共義(松本)

■17年度県小学生人権書道コンテスト

入選高橋枝里(沼田)渡辺真紀(昭和)

■17年度県明るい選挙啓発ポスターコンクール
 特選門脇社(日新小)入選市川萌花(明倫中)

■第34回県小中高等学校児童生徒作曲コンクール
【小学校の部】特別賞佐藤ちさと(日新)**【中学校の部】**最優秀賞森こずえ(日新)

■第55回県統計グラフコンクール

山形県統計協会会長賞日新小(高山滉大、伊藤



▲餅つき、踊り、歌などで新年を祝った新春おたのしみ会(1月7日/ゆめりあ)



▲人命救助で教育長から表彰された(左から)高橋悠哉くん、佐藤涙くん、奥山未来さん、矢口和佳奈さん(後列左=佐藤教育長、右=本澤日新小学校校長/1月16日/市役所)

大亮、荒川莉彩、柿崎千夏)入選日新小(中島華湖、前田梨菜、津藤未歩、荒木秀明、今埜駿)最優秀学校賞日新小

■17年度最上地区小中学校書写展

新庄市教育委員会賞井上夏緒(新庄小)佐藤奏子(新庄小)福井達也(日新小)姉崎史恵(新庄小)渡邊望(新庄小)高橋枝里(沼田小)遠藤桂花(明倫中)佐々木麻衣(明倫中)林寛香(明倫中)特別賞星川菜々美(山屋小)齋藤佳菜子(日新中)佐藤明日香(山屋小)早坂郁人(新庄小)指村清楓(泉田小)庄司夏未(明倫中)松坂佳美(日新中)

■第42回新庄市読書感想文コンクール

最上育英会賞奥山麻美(泉田小)芳賀彩香(八向中)高橋利恵子(新庄南高)優秀賞**【小学校の部】**石山創紀(日新)長沼葵(新庄)梅津なごみ(沼

田)齋藤貴大(日新)箱山亜美(泉田)柳生梨乃(本合海)伊藤守道(新庄)齋藤響(日新)高橋弥沙(沼田)佐藤綾乃(日新)西村究(新庄)**【中学校の部】**本間千聡(日新)後藤万智(日新)渡辺もも(日新)門脇綾子(明倫)鈴木琢磨(新庄)**【高等学校の部】**鈴木陽子(新庄北)

■新庄ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト

最優秀賞矢口眞由(日新中)優秀賞長谷部理保(日新中)伊藤未来(日新小)三原和也(新庄小)山科安皆(日新小)優良賞柿崎奈津美(新庄小)結城拳(新庄小)穀野桃子(新庄小)設楽友美(新庄小)関健太(新庄小)

■17年度県「伝承の匠」知事表彰

奥山亀雄(泉田)



ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

募集

体験農園 みそづくり教室

▼とき 3月4日(土)午後1時
〜3時 ▼ところ 空蔵四季の
家 ▼参加費 1,800円(製
品量約7kg)

▼定員 先着50人
▼申し込み 2月20日(月)から
農林課へ

※1人1口限定です(1家族
も1口限定)。

問 農林課農林振興室

☎内線269

18年度新庄市 交通災害共済

交通災害共済は、市民の皆
さんが会費を出し合い、交通事

故にあつた場合に見舞金を支
給する「たすけあい」の制度で
す。▼年会費 大人350円、
中学生以下300円

▼申込用紙 3月上旬に区長
を通じて全戸配布します。

問 環境課消防交通室

☎内線435・436

ふれあい看護体験

▼対象 高校生以上の人

▼体験施設 5月10日(水)／新
庄徳洲会病院(高校生10人)、
5月11日(木)／県立新庄病院
(高校生以上の学生15人)

▼申し込み 2月20日(月)〜2
月28日(火)／高校生は学校へ、
高校生以外ははがきで(郵便
番号・住所・氏名・性別・年齢・
職業または学校名・電話番号・
第二希望までの施設名・白衣
サイズを記入)

▼申し込み 3月10日(金)までは
がきで(作品・作品の趣旨・住
所・氏名・年齢・職業または学
校名・電話番号をはがき1枚に
1点として記入、何点でも可)

▼あて先 〒990-2473
山形市松波1-5-15
問 山形県看護協会
☎023-6885-8033

山形県交通安全 県民運動の新しい名称

これまでの「交通安全」ゆと
りとゆずりあい「県民運動」
に代わる新しい名称を募集し
ます。

▼応募資格 県内在住または
勤務・通学している人

▼テーマ 県民一人ひとりが交
通安全意識やマナーを高めるの
にふさわしい親しみのある名称

▼賞 最優秀賞1点(5万円)
など

問 山形県交通安全対策協議
会事務局
☎023-6300-2429

第20回みちのく民話まつり 四季語り「冬語り」

○とき 2月25日(土)午後1時30分〜4時
○ところ ふるさと歴史センター
○内容 第1部/笑いが響く昔話の世界、
第2部/昔話に先人の知恵を見る
※入場整理券が必要です。

もうひとつの民話まつり 「民話語り in 新庄パートII」

○とき 2月26日(日)午前9時〜11時
○ところ 市民プラザ和室
○いずれも入場無料です。詳しくは、ふるさと
歴史センターへ。 ☎22-2188

春の里山めぐり

〜第13回雪国体験フィールドワーク〜
○対象 小学生以上(先着20人)
○とき 3月4日(土)午前8時30分 雪の里
情報館集合〜正午
○内容 空蔵山麓の自然観察と散策
○案内 新庄の自然にふれあう会
○申し込み 3月1日(水)まで
○参加無料です。詳しくは、雪の里情報館
へ。 ☎22-7891

児童手当の手続きを 忘れずに

子どもが生まれたとき、市外から市
内に転入した場合は、児童手当の手
続きを忘れずにしてください。受付は随
時行っていますが、手続きが遅れても
さかのぼって支給できません。

○対象者 小学3年生以下の子ども
の保護者(所得制限あり)
○支給額 第1・2子月額5,000円、第
3子から月額10,000円
○詳しくは、福祉事務所児童支援室へ。
☎内線547



お知らせ

浄化槽を廃止する場合は 届け出が必要です

2月1日から浄化槽法の改
正により、浄化槽設置者は、建
物の建て替えや浄化槽から公
共下水道への切り替えなどで
浄化槽を廃止する場合は、30
日以内に届け出することが義
務づけられました。

▼届け出先 市環境課

問 環境課環境保全室

☎内線432

農業委員会委員 選挙人名簿の縦覧

▼とき 2月23日(木)〜3月9日
(木)午前8時30分〜午後5時
▼ところ 選挙管理委員会事務
局前(市役所東庁舎1階)

問 選挙管理委員会

☎内線420・421

入札参加資格審査申請書 (追加分)の受付

▼対象 最上広域市町村圏事
務組合が実施する建設工事、
測量・建設コンサルタン、物
品・工事材料などの18年度一
般(指名)競争入札
▼受付期間 2月28日(火)まで
(平日のみ)

▼ところ 最上広域市町村圏
事務組合

▼有効期限 19年3月31日

問 最上広域市町村圏事務組
合総務課

☎22-2674



2月のお・知

催し
など

3月の市・県民税申告相談

3月15日までの申告期間中は、担当職員(申告資料も)が申告会場に行くため市役所での申告相談はできません。どうぞご協力ください。

- 会場 市民文化会館小ホール
- 受付時間 午前9時～午後3時
- 1日(休) 太田、荒小屋、高壇、北新町、北新町団地
- 2日(休) 木栄町、栄町、落合町、冷水沢、小泉、北町
- 3日(金) 住吉町、上山山、滝ノ倉、円満寺町、沖の町
- 6日(月) 小月野、月岡、西町、川西町
- 7日(火) 万場町、東本町、沼田町
- 8日(水) 上・下山屋、常葉町
- 9日(木) 明倫通り、三本橋
- 10日(金) 茶屋町、上茶屋町、中道町
- 13日(月) 石川町、大手町
- 14日(火) 宮内町、中山町、東天町
- 15日(水) 新町、千門町

◎詳しくは、税務課課税室へ。☎内線142・143

庄司永建さんを囲んで ふるさと新庄・最上の明日を語る会

- とき 2月24日(金)午後2時～4時
 - ところ ゆめりあ もがみ体験館
 - 内容 新庄藩筆頭江戸家老・庄司永建さんのお話「生まれ故郷に想うこと、期待すること」、新庄・最上の魅力・課題について語り合う
- ◎参加無料ですが、申し込みが必要です。詳しくは、もがみ地域観光ボランティアガイド協議会へ。☎28-8881

「産直まゆの郷」ひなまつり

- とき 2月26日(日)午前9時30分～午後6時
 - 内容 旬野菜、花、農産物の販売、先着200人に桃の花プレゼント
- ◎詳しくは、産直まゆの郷☎23-5007、農林課バイオマス推進室☎内線267へ。

「新庄まつりの歴史と民俗」 調査報告会

～新庄まつり250年祭関連事業～

- 対象 どなたでも
 - とき 3月11日(土)午後1時～
 - ところ わくわく新庄 2F研修室
 - テーマ 「まつり行列の変遷」ほか2報告
 - 定員 約50人
- ※参加無料ですが事前に申し込みが必要です。◎詳しくは、ふるさと歴史センターへ。☎22-2188

こころの健康相談

- ▼対象 こころの悩みを抱えている人や家族 ▼とき 2月23日(木)午後1時30分～4時
 - ▼ところ 保健センター
 - ▼内容 専門医師による個別相談(予約制)
 - ▼申し込み 2月20日(月)まで
- ☎健康課健康推進室 ☎内線516

会社・法人登記が 電算化されます

3月6日から新庄市・最上郡内の会社・法人の登記事務を順次電算化します。これに伴い登記簿謄本などの取り扱いが次のように変わります。

- ▼登記簿の謄本・抄本→登記事項証明書(1通1,000円)

固定資産税・都市計画税を 口座振替で納付している方へ

平成18年度の固定資産税・都市計画税は、18年1月1日現在の土地・建物などの所有者に課税されます。相続や売買などで名義が変わった場合は、新たに口座振替の申し込みが必要です。

- ▼申し込み先 金融機関、郵便局、市役所
- ▼持ち物 通帳と届出印

☎税務課課税室 ☎内線146

うわさは好きですか？

虚偽のうわさを流したり他人のプライバシーを公開するなどして名誉や信用を傷つけることは、人権侵害にあたり、犯罪として処罰されたり、損害賠償請求される場合もあります。

☎新庄人権擁護委員協議会 ☎22-7528

住宅用火災報知器の 設置義務

消防法が改正され、一般住宅に住宅用火災報知器の設置が義務づけられました。

- ▼設置時期 新築住宅 / 6月1日から、既存住宅 / 平成23年6月1日まで

☎最上広域消防本部予防課 ☎22-7521

国民年金保険料の 納め忘れはありませんか？

納め忘れの保険料をそのまましておくと、年金額が少なくなったり、受けられなくなる場合があります。また、万一のとき障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられなくなることもありますので、毎月忘れずに納めましょう。

納付には、口座振替や割引のある前納をおすすめします。納め忘れがなく便利です。◎詳しくは、新庄社会保険事務所☎22-2050、市民課国民年金室☎内線134へ。

灯油漏れ事故が多発しています

- 給油中は絶対に目を離さない
 - バルブを閉めたか確認
 - タンク・配管漏れをチェック
- ◎詳しくは、環境課環境保全室へ。☎内線432

市営住宅入居者募集

| 団地名 | 間取り(畳) | 家賃 |
|-----------|---------|----------------|
| 玉の木団地(1戸) | 6・6・4.5 | 10,600～17,600円 |
| 野際団地(1戸) | 6・6 | 18,900～31,300円 |
| 小松室団地(1戸) | 8・6・6 | 23,600～39,100円 |

- 資格 次のすべてに該当する人
①現在住宅に困っている、②同居親族がいる(婚約者可、50歳以上単身可)、③収入基準に合う、④税金の未納がない
- 申し込み 2月16日(木)～23日(木)
- 受付時間 午前8時30分～午後5時(22日、23日は午後7時まで)
- ◎優先入居により抽選がなくなる場合があります。詳しくは、都市整備課建築住宅室へ。☎内線523・524

「特色ある教育活動の創出」

昨年、市が策定した「いのち輝く新庄もみの木教育プラン21」を指針に各校では次代を担う子どもたちを育成しています。今回は、新庄小学校での取り組みを紹介します。

新庄小学校は、現在、児童数五百八十五名です。「明るく、美しく、花開く学校」を合言葉に、子どもたちから「毎日学校に来るのが楽しい」と言われる学校、保護者や地域の人たちから信頼される学校を目指して頑張っています。

安全・安心の確保

全国各地で、児童生徒の安全を脅かす事件が後を絶ちません。それらをよそのことと考えず、本校の子どもに降りかからないようにできることを積極的にやっていることとしています。

この安全確保への地域やPTA組織の尽力は大きく、先進的な活動を展開しています。その特徴的な取り組みが「新小っ子見守り隊」の結成です。地域団体の協力と警察など関係機関の支援を得て、幅広い連携を基盤とした安全態勢を構築しています。こうした活動を通して、子どもたちと地域の人々

が関わる機会も増えています。

授業への意欲を高める

新庄小学校の特色の二つ目は、普段の授業が充実していることです。子どもたちは、授業に集中し、生き生きと学習しています。

本校では、授業を充実させるための基盤として「学級のよりよい人間関係づくり」や「学びの基本的な姿勢」などを重視しています。また、学ぶ内容や段階などに応じて学びの場や形態を変え、学習への関心と集中を高めています。その成果として、子どもたちが学習に対してこれまで以上に意欲的に取り組むようになったと感じています。

昨年度、本校において開催した「第二回全国少人数指導研究会」で、全学級を公開して全国発信したことを自信に、普段の授業をいつでも公開できることを目標としています。



「伝え合う」をテーマとした授業

美しい歌声づくり

三つ目は、質の高い全校合唱をつくり上げていることです。秋の合唱祭では、それぞれの学年で一人ひとりが真剣に歌声を披露します。その姿とともに、美しいハーモニーと団結の迫力は、毎年聴く人の心を打ち、好評を博しています。その歌声をリードする合唱部は、今年度TBC(東北放送)コンクールの東北大会出場を果たしました。

年間を通じた歌声づくりには、日ごろの学習の中で大事にしている子どもごうしの高め合いや、協力協調の精神が生きています。

今後も、このような特色を生かしながら地道に実践を重ね、確かな成果を上げていきたいと思えます。(新庄小学校)

新庄の歴史

こぼれ話

茨城県に残る重要文化財の 設計者・駒杵勤治

茨城県土浦市に、重要文化財の「旧茨城県立土浦中学校本館(現土浦第一高校)がある。この校舎は、明治三十七年から三十八年にかけて建てられた、木造の「シック調洋風建築である。以前は、この設計者は不明とされていたが、昭和五十年、国指定前の修理をした折、「上棟式 大棟梁茨城県技師工学士 駒杵勤治」(明治三十七年七月五日 請負人 石井権蔵)という棟札が発見され、駒杵勤治のことが明らかになった。

彼は、元新庄藩士 駒杵三郎家の四男として、明治十年に小田島に生まれた。山形県尋常中学、仙台の第二高等学校を経て東京帝国大学工科建築科に入学。ここで、後(大正時代)に東京駅を作った辰野金吾の教えを受けた。そして明治三十五年十二月、正規の卒業より八カ月早く卒業し、すぐに茨城県の技師として勤めた。その後、二年三月月という短い在任期間の中で、彼は、驚異的にも、中学校八校、水戸商業学校、県立図書館、麻生警察署などの建設に携わった。これらの中

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『図解 孫にもてるための本』

シルバーライフ研究班 著

いわゆる「団塊の世代」が祖父母世代に突入。忙しいばかりだった子育て時代に子どもになしえなかった夢を今、孫で実現できるかも？孫がいなくてもならん不思議ではない超少子化の現代ですが、孫世代の攻略本としてもおもしろい。



● 今月のテーマ展示 ●

「アジア」

韓流ドラマ、小説の人気は、とどまるところを知らず、当館でも多くの方々にご利用いただいております。老後暮ししやすい国として、タイが上位にランクされるなど、「近くて遠い」「知っているようで知らない」と言われたアジアが、より身近になりつつあります。今月はアジアをテーマに、人物、歴史、経済、観光、物語などを展示します。

新着図書

- ◆ まほういろのえのぐ……つちだ よしはる
- ◆ もったいないばあさんがくるよ…真珠 まりこ
- ◆ あめあがりの名探偵……杉山 亮
- ◆ だれのあしあと……ふくだ としお
- ◆ とおもったら……イエラ・マリ
- ◆ 魔法の笑窪……大澤 在昌
- ◆ 春朗合わせ鏡……高橋 克彦
- ◆ 貧乏貴族……吉田 コト子
- ◆ 讃歌……篠田 節子
- ◆ 美術家名鑑 2006年版……清水 治
- ◆ 単騎、千里を走る。……白川 道
- ◆ 愛の保存法……平 安寿子
- ◆ 天皇と東大(上・下)……立花 隆
- ◆ エンド・ゲーム(常野物語)…恩田 陸
- ◆ Love Letter……石田 衣良
- ◆ ツチヤ教授の哲学講義…土屋 賢二
- ◆ いま、暗闇でふるえているきみへ…義家 弘介
- ◆ 秋の大三角……吉野万里子
- ◆ タッチ……ダニエル・キイス
- ◆ みずうみ……よしもと ばなな
- ◆ 「サラ川」傑作選 ごとんばやし…山藤 章二
- ◆ あらしのよるに……きむら ゆういち
- ◆ 暗い国境線……逢坂 剛
- ◆ ふくもの 一幸せお届けますー…上大岡 トメ
- ◆ 死後結婚(サーフキョロン)…岩井志麻子
- ◆ このミステリーがすごい 2006年版…宝島社
- ◆ 貞操問答……菊池 寛
- ◆ ぼらぼらあれー毎日できちゃうボケ防止ー大友 英一
- ◆ Presents……角田 光代
- ◆ 心配しないで!食物アレルギー……武内 澄子

●開館時間 午前10時～午後6時
●休館日 毎週月曜日、祝日、年末年始

学校給食の望ましいあり方は？

～学校給食アンケートから～

学校給食の望ましいあり方を検討している学校給食検討委員会が昨年実施したアンケート調査の結果がまとまりました。対象は、小学四年生以上の全小中学生と保護者、教職員の計四、五〇七人。

集計結果は「学校給食が」必要」が小学生88%、中学生68%、小学生の保護者ともに94%、小学校教職員90%なのに対し、中学校教職員の51%が必要、「不要」が46%が必要でない」というものでした。

また、「これからの給食はどつし」たらよいか」という設問には、中学校教職員以外では、「学校給食が必要かどうか」という設問への回答とほぼ同じ割合なのに対し、中学校教職員では「必要」「不必要」

ともに43%という結果でした。

学校給食検討委員会は、P.T.A.小中学校長・教員・栄養士・公募委員の計十三人からなり、市の学校給食の将来像を展望するため昨年発足しました。現在、小学校では各校で給食を作る自校方式による完全給食、中学校では牛乳給食のみを実施しています。

給食賛成の主な意見としては、「栄養バランスが良い」「温かい食事が食べられる」「弁当を作るのが大変そうだ」、反対意見としては、「弁当を通して親子のコミュニケーションが図られる」「日課のゆとりがなく、下校時間が遅くなる」「弁当の方が好き」などがあげられました。

検討委員会からは、「給食は調理法に工夫があり、さまざまなおかずを食べられる」「食へ残せば結局かたよつた食事になる」「温かい食べ物を食べさせるには自校方式給食で行うべきである」「学校の日課の見直しが必要である」「弁当と給食の選択制を導入できないか」「給食費の集金・未収問題への対応が大変だ」「食育を学校まかせにするのは問題」など、多くの意見が出されました。

検討委員会は、今回の結果を踏まえ、さらに協議し、学校給食など「食育」についての議論を深めながら委員会としての意見をとりまとめ、来年一月までに教育長に答申する予定です。

で現存するのが、前述の土浦中学校本館のほか、旧太田中学校講堂(現太田第一高校。重要文化財。パロク様式)、旧商業学校本館(現水戸商業高校。登録文化財)である。茨城を離れた後の、彼の事跡ははつきりしない。内務省時代に伊勢神宮の遷宮造り替え(大正二年)に関わったとか、海軍省時代には佐世保の鎮守府庁舎を手がけたとか、また、旧佐世保高校も彼の設計とかいわれているが、いずれも詳しくはわかっていない。晩年は福岡市で設計事務所を開いていたが、大正八年二月、結核のため亡くなった(享年四十二)。お墓は、新庄市上西山の桂嶽寺にある。

(市史編さん室)

かつろく思い出の四季

冬の登校



道路は除雪しなかった。雪は多く、踏んで道をつける。

吹雪も多かった。西山や飛田にいく街道、太田街道、仁間街道などは両側に家もなく、鳥海おろしの強い風が吹き、向い風の時は、息つくこともできない吹雪になることもあった。

帰りには、後ろから押されて駆け足の速さになる。道は馬の背のようで、真中から足を外すと両側はどつぶりとぬかる。

猛吹雪の日は、学校も早あがりだ。村では、父兄が当番を決めて迎えにくる。

服装は、着物にもんぺ、マント、藁深沓だ。農村の子は、ござ帽子、みの帽子、あるいはケット(毛布)の腰のところをしばって頭から冠り、づんべわらじをはく者もいた。藁深沓は、中に藁くたを入れておくから温かい。濡れると冷たくなるから、時々乾かしてはく。

ゴム靴が新庄にきたのは、大正十年頃。長ゴム靴は、その二年ほどたつてから入ってきた。

絵||三条正美、文||笹喜四郎(昭和六十一年新庄市発行)

見・所・探・訪

新庄ふるさと歴史センター

～昭和58年11月開館～

ふるさと歴史センターは、「祭り」「歴史民俗」「雪国」の3つの視点から新庄を紹介する市の歴史・観光拠点施設である。新庄まつりの山車をはじめ、石器・古文書・衣装などの歴史民俗資料や、この地方で使われてきた約2万点余りの民具(種類・数量で東北最大級)などを収蔵展示している。昨年1月には、日本洋画壇の重鎮・近岡善次郎氏と人間国宝の金工鍛金家・奥山峰石氏の作品を常設展示する名誉市民特別記念室も開設した。今月25日には「みちのく民話まつり・冬語り」が開催される。



12月末現在の新庄人

40,900人(41,289人)

女 21,280人(21,500人)

男 19,620人(19,789人)

世帯数 13,437世帯(13,492世帯)

12月の異動

出生 27人(21人)

死亡 35人(42人)

転入 62人(65人)

転出 77人(81人)

※()は1年前の住民基本台帳

表紙 の 写真

昔に タイムトリップ ～むかし大好き!冬体験～

本物の昔の冬を体験してみようと、かやぶき屋根の旧矢作家住宅(江戸時代中期の建築)に集まった子どもたちと親子連れ。昔ながらの「みの」をまとい「踏みだわら」をはき新雪に道つけ体験。いろいろで暖をとりながら、縄ないや五平もち、なし団子飾りなど、貴重な昔の冬体験を楽しみました。

